



万葉の里味真野苑 (越前市)

味真野は万葉集にゆかりの深い場所。奈良時代、聖武天皇に仕える女官と恋に落ちたため、味真野に流された中臣宅守。二人は思いを託した歌を贈りあいました。味真野苑では、代表的な歌15首が歌碑に刻まれています。水芭蕉、牡丹、藤、花菖蒲、萩と四季折々に咲く花とともに、万葉のロマンにひたることができます。

理 念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 良質な医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 十分な説明を受ける権利
- ⑤ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥ 個人の尊厳を守る権利
- ⑦ 通信・面会を自由に行う権利

INDEX

- 表紙 福井の名所探訪④
万葉の里味真野苑
- P2 すこやか講座
「入浴に関する悩み」
- P3 家族は今
「答えが見つからない」…でも」
- P4 トピックス
栄養学科学学生実習
非常食の説明会
- P5 世界アルツハイマーデー
デイケアだより
- P6 THE病棟 ジャンボひまわり
- P7 録画配信研修のお知らせ
- P8 研修案内(一般・専門職)
令和3年11月～



入浴に関するお悩み →(〇〇かもしれない)を考える

認知症ケアの場面で、認知症の方の行動に悩むことはよくあります。

なぜそのような行動をとるのか、行動の理由（背景）から、ご本人のニーズに応えられるよう対応を考えることが大切です。今月号では、入浴に関するお悩み事例をとりあげて解決策を考えてみたいと思います。

浴室への誘導を 拒否される

- 視力低下による見えにくさから不安を感じているのかもしれない
- 浴室に目印がないため、移動しにくいなのかもしれない
- 生活歴と入浴時間帯の違いから拒否されているのかもしれない

浴室へ行っても 服を脱げない

- きれい好きなので、他者は気にならないホコリが気になるのかもしれない
- プライバシー面や音などの環境要素が、拒否要因になっているのかもしれない

いつも入浴できていた人が ある日突然、入浴を拒否

- 自尊心が強い方にとって介助される事が増え、つらい思いをされているのかもしれない
- 以前入った入浴で不快な思いをし、拒否につながるような体験をされたのかもしれない
- 本人への声かけが「バカにされている、だまされている」と思ったのかもしれない

- ゆっくり笑顔でコミュニケーションを図りながら安心感を与えられるよう「一番風呂」「貸切風呂」「気持ちの良いお風呂」をイメージしやすい言葉がけをして誘導する。
- 浴室の入り口にのれんを掛け目印にする（白内障の方が認識しやすい暖色系にし、風呂場をイメージしやすいイラストをつける）。また、タオルや石鹸などをみてもらい、お風呂の認識をやすくする。
- これまでの生活習慣に合わせた時間帯にする。入浴前に趣味活動や散歩を行い「汗をかいたのでシャワーを浴びましょう」と声掛けしたり、「お風呂の後にジュースを飲みましょう」と入浴後の楽しさを伝える。
- 粘着ローラーを用意して、ホコリが付かないことを確認してもらう。脱いだ服は、すぐにきれいにたたみ保管できる袋などを用意し、汚れた衣類を人に見られないように配慮する。
- 騒音を防ぎ、好きな音楽や歌を流す。好みの湯温、室温、明るさを調節し、脱衣所にはついたてを置くなど、着替えを人に見られないように配慮する。
- 一つひとつ手順を説明しご本人のペースで対応する。また、ご本人のやり方を聞きながら自身では難しい部分を介助し自尊心を尊重する。
- 不快な思いをしないよう目・耳などにお湯が入らないよう配慮する。
- 納得して入浴できるよう声かけや対応を工夫し、ご本人と誠実に向き合うようにする。



「答えが見つからない”…でも」

T・T

昨年の11月、突然の病発覚により元気だった父が半年で他界しました。いつも一緒に過ごしていた母が、父の入院により以前から発症していたレビー小体型認知症の症状が急速に進行し、他界したことにより更に悪化していきました。

この間、ケアマネージャーやかかりつけの病院と相談し、毎日のデイサービスと週末のショートステイを利用しながら、夜は息子である私が毎晩一緒に寝て世話をし、介護機器を駆使して、家族全員で介護する日々が続きました。これまでの色々な介護経験者の話や情報を基に、介護の大変さを理解しているつもりでしたが、現実と直面すると想像を超えるもので、体力的にも精神的にも限界に達したのです。

そして一番悩んだのが「何がベストな答えなのか判らない」ということです。母にとってどうすることが一番良いのか、介護施設入所なのか、病院なのか、自宅での介護なのか、母の気持ちを考えれば考えるほど葛藤を繰り返し、答えが出てこないのです。

しかし専門の方々や親族の後押しもあり、病状を改善・安定させるための入院を決断しました。このコロナ禍の中で一切面会も出来ず入院させることは、私達にとって大変な決断でしたが、長年お世話になっている神経内科の先生からの紹介で、このすこやかシルバー病院に即日入院することが出来ました。

入院した日の病室へ一人で向かう姿は忘れることができませんが、現在は症状も安定してきており、家族や親族共々入院させて本当に良かったと思っています。先生や看護師の方々には本当に感謝しております。直接、母の元気な姿を見れることを楽しみにしています。



トピックス I

管理栄養士 臨地実習

学生実習(給食経営管理論・臨床栄養学)



4年生

患者様が理解しやすい工夫を行いながら、非常食について説明しました。



3年生

昼食時に主食・主菜・副菜ごとに分けて、残食調査を行いました。

コロナ禍で大変な期間ではありましたが、当院スタッフと学生は共に厳重な感染予防対策を行い、患者様との距離を十分保ちながら実習生の受け入れを行いました。

今回、1週間の「給食経営管理論」の実習に3年生3名、2週間の「臨床栄養学」実習に4年生3名ずつ2グループが来られました。3年生は、給食経営管理論の知識や技術が当院でどのように活かされているか等を学び、4年生は、傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいた栄養管理方法等を学ばれました。

非常食の説明会

夜間に災害等が発生して栄養管理室スタッフが出勤できなくなった場合でも、病棟スタッフが食事の対応を行えるよう説明会を実施しました。

実際の水や非常食の保管場所を確認しアルファード米を食べられる状態にする工程の動画で病棟スタッフに説明をしました。

また、患者様に提供する非常食を病棟スタッフが試食し、味や形態についてのアンケート調査を行いました。

確認項目

- ①非常食の保管場所
- ②非常食の作り方
- ③非常食の味見
- ④非常食が患者の食事形態に見合っているか



試食後の感想

- 冷めていても美味しかった
- 食べやすい硬さだった
- ソフト食は水分が出にくく、まとまりやすくてよかった
- 非常時に食べるには十分美味しかった



トピックスⅡ

世界アルツハイマーデー

世界アルツハイマーデー（9月21日）は、認知症への理解をすすめる本人や家族への施策の充実を目的に、1994年に国際アルツハイマー病協会が制定しました。また、9月を世界アルツハイマー月間として、各国で啓発活動を行っています。そこで、当院においても、認知症の正しい知識や家族への支援について解説したパネルなどを設置し、啓発活動を行いました。パネルでは、認知症の症状のほか、患者とその家族が認知症とどう向き合うべきかを解説しています。来院者には、当院の利用者様が作った認知症サポーターキャラバンの「ロバ隊長」のキーホルダーを配布したりロバ隊長のマスコットをツリーに飾ってもらったりしました。

これから、毎年9月をアルツハイマー月間として活動をしていく予定なので、機会があれば、またお立ち寄りください。



手作りマスコットを自由に飾ってもらいました



認知症に関する内容をパネルに掲示



職員はおそろいのTシャツを着用

6・7月 ひょうたん作り

ひょうたんは、昔から縁起物や厄除けのお守りとされてきたそうです。

夏の植物でもあるひょうたんに折り紙を貼って、ひょうたんの飾りを作っていました。中に入っていた種を貼る個性派の利用者さんもいらっしゃいました。



デイケアだより

デイケアつどいでの活動をご紹介します！

8月 Tシャツ飾り作り

皆様、夏はTシャツを着たくありませんか？日本には、海辺にTシャツを展示する地域があるそうです。

そこで8月は、利用者さんたちにTシャツの飾りを作っていただき、デイルームに飾ることにしました。胸元はスタンドガラス風で涼しげに。工程は少し複雑でしたが、皆様楽しんで作成してくださいました。



フィルムにお花紙を貼る。



フィルムをTシャツ型の台紙に貼る。

完成!



The 病棟



夏を代表する花 ひまわり

色々な品種がある中で、『ジャンボひまわり』を育てました。



種を撒き、芽が出てからは、
凄まじいスピードで
成長していきました。



雑草や害虫にも負けず、
こんなに大きくなりました。

水やりも一苦労…
だけど楽しい！
嬉しい！



来年は何を植えようか
今から楽しみです♪



一本のひまわりに
たくさんの花が
咲いたものも…!!



録画配信研修のお知らせ

研修
テーマ

認知症の方の BPSDを理解する

内容(1時間程の研修です)

- 認知症とは
- BPSDがおきる成り立ち
- BPSDの症状とそのケア
- BPSDの原因を考える視点
- 不同意メッセージという考え方

講師

福井県立
すこやかシルバー病院

山口 泰宏 看護師



YouTubeで
現在動画配信中

令和4年3月31日(木) 24:00まで配信

※YouTubeでの配信のため、
途中、広告が入る場合がございます。
ご了承ください。

申込み方法 下記メールアドレスへメールにてお申し込みください。

kaigo@fukui-sukoyaka-silver.or.jp

- ※申込みの際、氏名、事業所名、電話番号、視聴予定人数をお知らせください。
折り返しパスワードをお知らせします(返信に数日かかる場合もございます)。
- ※受信拒否設定をされていると届きませんので、ご注意ください。

申込
先

福井県立すこやかシルバー病院

〒910-3623 福井市島寺町93-6 TEL.0776-98-2700



【令和3年11月～】

福井県立すこやかシルバー病院 研修案内

リニューアルすこやか 2021 秋号 Vol. 104 令和3年10月発行

注意事項

- 定員以上の受付は致しません
- 体調不良の方は来場をご遠慮ください
- 検温の実施(37.5℃以上の場合、参加はご遠慮ください)
- 手指消毒の実施(入場の際消毒をお願いします)
- マスク着用(各自ご準備ください)
- 換気の実施(服装、掛物、座布団等持参のうえ調整をお願いします)
- 座席指定制(指定された席以外利用できません)
- 参加者氏名・住所・電話番号の記載
- 専門職の方は所属施設の許可がある場合のみ参加可能(所属施設の許可がない場合申し込みはご遠慮ください)

一般の方を対象にした研修

研修場所：福井県立すこやかシルバー病院(福井市島寺町 93-6) 2階講堂

参加費無料

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
脳を活性化させよう	11月5日(金)	13時30分～14時10分	● 心と体を元気にする活動、実演	福井県立すこやかシルバー病院 下口さゆり作業療法士	20名
認知症高齢者の排泄援助	11月12日(金)	13時30分～15時	● 認知症高齢者が排泄時に援助を要する状況 ● 認知症高齢者に対する排泄時の介護のポイント	福井県立すこやかシルバー病院 辻 真彰副看護師長	20名
レビー小体型認知症の方の介護	11月26日(金)	13時30分～15時	● レビー小体型認知症の症状について ● レビー小体型認知症の方の介護のポイントについて	福井県立すこやかシルバー病院 増田直代看護師長	20名
認知症高齢者の食事援助	12月3日(金)	13時30分～15時	● 食事摂取困難な状況、介護のポイントについて ● 認知症高齢者の摂食開始困難、摂食中断、食べ方の乱れに対する食事環境づくり	福井県立すこやかシルバー病院 渡辺康絵副看護師長	20名
認知症の基礎知識(医師の講義)	12月7日(火)	15時～16時30分	● 認知症の原因となる病気と症状について ● 認知症の診断において必要な情報、認知症の治療について	福井県立すこやかシルバー病院 村田憲治院長	20名
脳を活性化させよう	12月10日(金)	13時30分～14時10分	● 心と体を元気にする活動、実演	福井県立すこやかシルバー病院 濱谷祐三子介護福祉士	20名
高齢者の口腔ケア(録画による研修の予定です)	12月17日(金)	13時30分～15時	● 口腔の機能、唾液、歯周病について ● 高齢者の口腔内の特徴 ● ブラッシング、義歯管理、口腔ケアの実際	福井県歯科医師会 歯科衛生士 宮本美紀子氏	20名
認知症の基礎知識と対応のポイント	12月24日(金)	13時30分～15時	● 認知症の原因疾患、症状について ● 認知症の方への対応のヒント、対応の実例	福井県立すこやかシルバー病院 石丸智佳子副看護師長	20名

ケア専門職の方を対象にした研修

研修場所：福井県立すこやかシルバー病院(福井市島寺町 93-6) 2階講堂

参加費無料

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
高齢者の食事援助	11月5日(金)	10時～12時	● 高齢者の特徴(食事に必要な身体機能の変化) ● 食事の姿勢、食事介助の注意点 ● 食べやすい食事の工夫	福井県済生会病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 北村 綾氏	24名
認知症と類似した疾患の区別と対応方法	11月10日(水)	14時～16時30分	● 高齢者の生理的反応、せん妄、高齢化統合失調症、高齢期うつ病と認知症の類似点・相違点、ケアの方法	一般財団法人 仁明会精神衛生研究所副所長 大塚恒子氏	24名
認知症者に対するリハビリテーション	11月11日(木)	13時30分～16時30分	● 認知症者に対するリハの意義・目的 ● 脳活性化リハの5原則 ● 脳活性化リハの実践	群馬大学大学院 保健学研究科 准教授 山上徹也氏	24名
認知症の理解とせん妄、BPSDの予防(病院での対応をもとに)	11月17日(水)	14時～15時30分	● 認知症の原因疾患と症状 ● せん妄、BPSDの予防とケア ● 症状ごとの事例と対応	公立丹南病院 認知症看護認定看護師 堀 佑利恵氏	24名
認知症予防に効果のある介護レクリエーション	11月18日(木)	13時30分～16時30分	● 高齢者への介護レクリエーションを活用した認知症予防の効果 ● 認知症予防に効果のあるレクリエーションの手法 ● 脳の活性化のための二重課題等の体験	奈良県立医科大学医学部 看護学科 教授 澤見一枝氏	24名
怒りのある方への対応	11月24日(水)	14時30分～16時30分	● 怒りをしずめる上手な接し方 ● 逆効果となる対応	福井県立病院 精神看護専門看護師 山口達也氏	24名
認知症の方の暴言、暴力、介護拒否への対応	11月25日(木)	15時～17時	● BPSD(行動・心理症状)の理解 ● BPSD(行動・心理症状)の原因と理由の観察 ● 暴言、暴力、介護拒否に対するケア	NPO法人 認知症ケア研究所 統括管理者 高橋克佳氏	24名
認知症の方の暴言、暴力、介護拒否への対応	11月26日(金)	9時～11時	● BPSD(行動・心理症状)の理解 ● BPSD(行動・心理症状)の原因と理由の観察 ● 暴言、暴力、介護拒否に対するケア	NPO法人 認知症ケア研究所 統括管理者 高橋克佳氏	24名

新型コロナウイルス感染症等の影響により、研修は中止となる場合がございます。

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 TEL (0776) 98-2700